

様式第4のト（第4条、第5条関係）（ま）（さ）（す）（ソ）

移動タンク貯蔵所構造設備明細書

車名及び型式		①					
製造事業所名		②					
③ 危険物	類別		⑨ 側面 枠	当 て 板	材	材質記号	
	品名				料	引張り強さ	N/mm ²
	化学名				板厚		mm
	比重				防	材質記号	
④ タンク諸元	断面形状		⑩ 護	材	材質記号		
	内側寸法	長さ	mm	枠	引張り強さ	N/mm ²	
		幅	mm		閉鎖装置	板厚	mm
		高さ	mm			自動閉鎖装置	有・無
	最大容量		ℓ	吐出口の位置		左右後	
	タンク室の容量		ℓ	レバーの位置		左右後	
	材料	材質記号		底弁損傷防止方法		⑪	
		引張り強さ	N/mm ²	接地導線		有(長さ m)・無	
	板厚	胴板	mm	緊結装置	緊縮金具 (すみ金具)		有・無
		鏡板	mm		Uボルト	材質記号	
間仕切板		mm	⑫ 引張り強さ			N/mm ²	
⑤ 防波板	材料	材質記号		箱	材	材質記号	
		引張り強さ	N/mm ²			⑬ 枠	引張り強さ
	板厚		mm	消	薬剤の種類		
	面積比				火	薬剤量	kg
防波板面積 ×100 タンク断面積			⑭ 器	個数		個	個
タンク最大常用圧力		⑥ kPa	可燃性蒸気回収設備		有・無		
⑦ 装置	有効吹き出し面積		cm ²	給油設備	有(航空機・船舶)・無		
	⑧ 側面 枠	材質記号		備 考	⑮		
引張り強さ		N/mm ²					
板厚		mm					
取付角度							
接地角度							

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

〔移動タンク貯蔵所構造設備明細書記入例〕

- ① 「車両及び形式」欄は、車両の型式、品番等を記入する。
- ② 「製造事業所名」欄は、製造する事業所の名称を記入する。（タンクの製造メーカーではない。）
- ③ 「危険物」欄は、危険物の類別、品名、化学名及び比重を記入する。
なお、当該欄に書ききれない場合は別紙にし添付する。また特殊な化学物質にあつては、危険物の試験結果報告書等を添付する。
- ④ 「タンク諸元」欄は、各項目の欄に該当する事項を記入する。
 - ・断面形状：だ円型、円筒型等
 - ・寸法：タンクの長さ、幅、高さ（内側寸法）
 - ・容量：タンクの最大容量（単位 リットル）
 - ・タンク室の容量：各タンク室の容量（単位 リットル）
 - ・材質、板厚：タンクの材質記号及び板厚
 - ・板厚：胴板、鏡板、間仕切板の厚さ
- ⑤ 「防波板」欄は、防波板の材質、引張り強さ、板厚を記入する。面積比にあつては、各タンク室の比率を記入する。
- ⑥ 「最大常用圧力」欄は、タンク最大常用圧力を記入する。
- ⑦ 「安全装置」欄は、作動圧力及び有効吹き出し面積を記入する。
- ⑧ 「側面枠」欄は、材質、引張り強さ、板厚並びに取付角度及び接地角度を記入する。
- ⑨ 「側面枠当て板」欄は、
- ⑩ 「防護枠」欄は、
- ⑪ 「底弁損傷防止方法」欄は、衝撃時の底弁損傷防止方法を記入する。
＜例＞ 配管の屈曲 フレキシブルチューブ
- ⑫ 「緊結金具（Uボルト）」欄は、材質、引張り強さ、ボルトの直径（呼び径）及び使用数を記入する。
- ⑬ 「箱枠」欄は、材質、引張り強さを記入する。
- ⑭ 「消火設備」欄は、薬剤の種類、薬剤の量及び設置個数を記入する。
- ⑮ 「備考」欄は、特殊な移動タンク貯蔵所の場合、その概要を記入する。